

# ビジネスレポート

マークラインズ株式会社

## トップメッセージ

平素は、格別のご支援、ご高配を賜り心より感謝申し上げます。

わたくしたちマークラインズは、世界で変貌しつつ発展を続ける自動車産業のポータルサイトを運営しており、現在世界40カ国以上、約3,300社の企業の皆様にご利用いただいております。

2019年度は、情報プラットフォーム利用者のユーザーエクスペリエンスを向上させるため、利用者が目的別にコンテンツを閲覧できるようにトップページにタイルレイアウトのメニューを取り入れ、ユーザー所在国に応じてコンテンツをエリア別に自動的に表示変更するリノベーションを実施しました。また、自動車産業の成長企業に資金面も含めたワンストップの支援体制構築を目指し、新たにファンド事業への取り組みを開始しました。

今後も継続してシステム及びサービスの改善やサービス領域の拡大を推進し、自動車産業に関わる全ての企業の皆様をつなぐプラットフォームとしての役割を担えるよう取り組んでまいります。

今後も引き続き、ご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2020年3月

代表取締役社長 酒井 誠



## NEWS & TOPICS

### 新卒採用をスタート

将来の経営を担うコア人材の獲得、組織の活性化を目的として昨年より新卒採用活動を開始し、4月にその第1期生として5名が入社しました。



### 情報プラットフォーム契約企業数 3,000社達成

契約企業数は、2001年1月の設立以来16年目で2,000社を超え、その後の3年1カ月で3,000社達成となりました。契約企業数の伸びは着実に加速しております。



## MarkLines の強み / 特徴

### 自動車産業に特化したトータルソリューションを提供

自動車情報をみんなでシェア  
検索サイト ●●●●●●  
**情報プラットフォーム**  
https://www.marklines.com

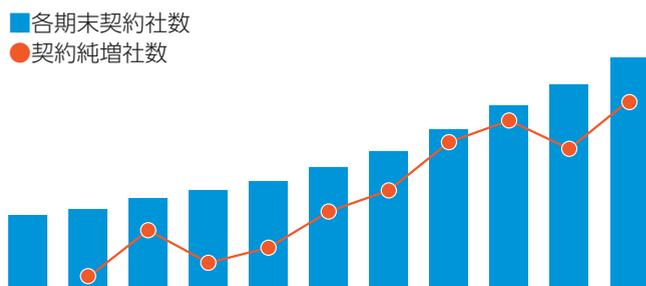
**自動車業界を支援するトータルソリューション  
マークラインズ自動車産業ポータル**

- 顧客を開拓する  
プロモーション広告  
**LINES**
- 業界エキスパート集団  
**コンサルティング・受託調査**
- 自動車業界に特化した  
**人材紹介**
- グローバル市場・技術の中長期予測  
**市場予測**
- 分解調査・部品調達代行  
**ベンチマーキング**

当社グループは、中核サービスの「情報プラットフォーム」に加え、お客様のニーズに合わせ、LINES、コンサルティング・受託調査、人材紹介等、5つのサービスをテラーメイドで提供する、「自動車産業ポータル」を運営しております。

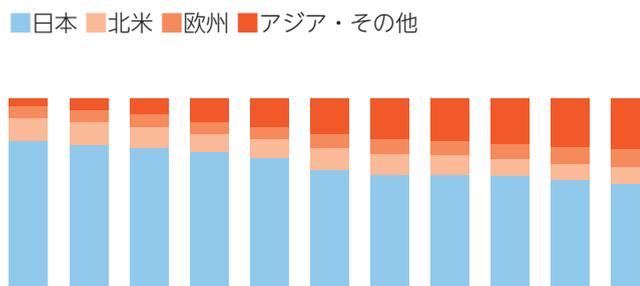
### 拡大を続ける顧客基盤

情報プラットフォーム  
2019年度末契約企業数 **3,266社**



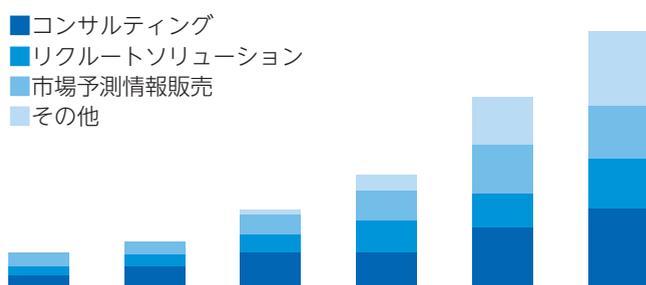
### グローバルに広がる 情報プラットフォーム

当事業の2019年度  
海外売上高比率 **44.9%**



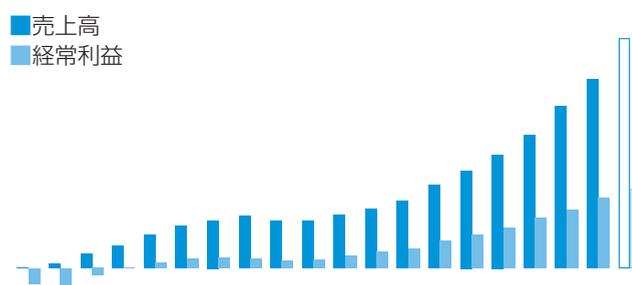
### 情報プラットフォーム会員に 浸透し始めた各種サービス

情報プラットフォーム以外の  
事業の2019年度売上高 **632百万円**



### 成長を続けるマークラインズ

10年間で  
売上高 (見通し) **約5倍** 経常利益 (見通し) **約9倍**



## 事業紹介



### 情報プラットフォーム

#### 事業の内容

自動車産業のプレイヤーが共通に必要なとする世界各国のサプライヤー情報、生産・販売台数の統計データ、CASE・市場予測・分解調査等に関する市場・技術レポート等を日・英・中の3カ国語で提供している会員制の情報サービスです。

#### 業績

国内は前期における新規契約獲得の停滞が当期に影響し、売上高は1桁台の伸びに止まりました。一方で、海外は契約獲得が好調に推移し、特に欧州、アジア、北米及び中国の売上高は2桁台の伸びとなり、海外売上高比率は44.9%に高まりました。

■売上高 ■営業利益 (単位:百万円)



#### 成長戦略

「情報プラットフォーム」コンテンツの充実を図るため下記施策を実行します。

- 中国市場に関連するコンテンツ（販売データ、市場レポート等）の強化を推進します。
- これまで蓄積してきたCASE関連のコンテンツを整備・再構築し新たなメニューとして提供します。
- モデルチェンジ情報の検索機能を強化し、利用者の利便性向上を図ります。



### コンサルティング

#### 事業の内容

CASE関連のコンサルティングやコスト比較分析等、お客様の依頼に応じて提供するサービスです。当社が蓄積した情報や独自の知見、社内外専門家のネットワークを駆使して、付加価値の高いサービスを提供しております。

#### 業績

自動車産業全体が停滞した影響を受けましたが、通期では「コスト比較分析サービス」を中心に引合いが好調に推移し、売上高は29.5%増加となりました。一方で、営業利益については、コンサルタント増員による人件費の増加を吸収しきれず、前期比2.9%減少となりました。

■売上高 ■営業利益 (単位:百万円)



#### 成長戦略

- 車両実験、官公庁プロジェクトなど、新しい領域の案件獲得を促進し、サービスライン拡充を図ります。
- 新規事業立ち上げ支援や経営課題の解決など事業に結びついた案件を増やし収益力向上を目指します。
- 調査外注・提携パートナーの発掘を推進し、旺盛なコスト比較分析サービスの引合いに対応します。



### 人材紹介

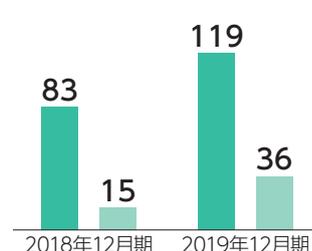
#### 事業の内容

自動車業界に特化した人材紹介サービスです。顧客からの技術・営業・管理・企画等の様々な求人要望に対し、要望にマッチした適確人材を、人材ネットワークや当社の求職者データベース等からご紹介しております。

#### 業績

国内乗用車メーカー8社すべてから求人案件を獲得しました。また、自動運転などCASE関連の技術者の求人案件が増加し、売上高は前期比43.3%の増加、営業利益は前期比140.8%増加となりました。

■売上高 ■営業利益 (単位:百万円)



#### 成長戦略

- 案件数の多い完成車メーカー、大手部品メーカーに注力し、効率的な営業活動を展開します。
- 部長職以上の経営層の求人獲得強化に取り組み、収益力向上を目指します。
- 新たな案件獲得を目指し、海外提携先の発掘などに着手します。

## 市場予測

### 事業の内容

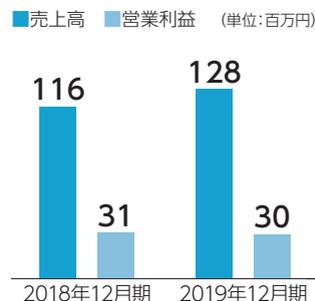
英調査会社LMC Automotive社による自動車市場予測情報を提供するサービスです。

### 業績

前期までは売上を順調に伸ばしてきましたが、景気の影響を受けやすい高額商品のため自動車各社のコスト見直しの影響を受け、問合せ件数が減少し新規契約が奮わず、売上高は前期比10%程度の伸びに止まりました。

### 成長戦略

- 主要メディアにおいて「LMC Automotive Ltd.」の引用を推進し、当サービスの露出を増やし受注増を図ります。
- リスティング広告を活用し当サービスの露出を高め、受注件数の増加を目指します。



### その他

## ベンチマーキング

### 分解調査データ販売

#### 事業の内容

ベンチマーキング活動に役立つMunro & Associates, Inc.の車両分解・分析データの他、国内の製品解析や分解調査を行う会社等のデータを取り扱っております。

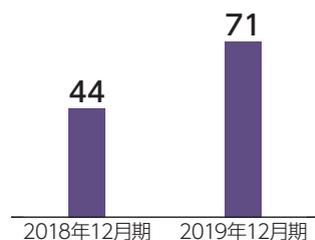
#### 業績

「Tesla model3分解調査データ」の販売増、及び新たに投入した「主要電動車用駆動モーターの7車種比較データ」が好調に推移し、売上高は前期比61.3%の増加となりました。

#### 成長戦略

引き続き「主要電動車用駆動モーターの7車種比較データ」の認知活動を実施し、さらに新しい部品のレポートを投入することで受注増を図ります。

分解調査データ販売の売上高実績  
(単位:百万円)



### 車両・部品調達代行サービス

#### 事業の内容

ベンチマーキング活動にお使いになる車両及び部品の購入を迅速に代行するサービスです。国内外で販売されている車種の部品と、欧州、北米で販売されている車両全般の購入を代行します。

#### 業績

認知活動の効果が現れ、サービスが浸透し始めた結果、受注が大幅に増加し、売上高は前期比82.6%の増加となりました。

#### 成長戦略

展示会、更新メールなどを通じて、当サービスをより一層浸透させることで売上増の加速を目指します。

車両・部品調達代行サービスの売上高実績  
(単位:百万円)



## LINES

### 事業の内容

自社の製品・技術・サービスを情報プラットフォームの会員に対し、PRメール、製品情報掲載、バナー広告の3つのサービスでPRすることにより、販促活動を効果的に支援します。

### 業績

売上高は、前期の実績と同水準となる23百万円に止まりました。

### 成長戦略

- 2019年度末からメール配信システムを更新し、送信通数を1回1万通から約3万通に引き上げ、商品力の向上を図りました。2020年度は、当サービスを改めて潜在顧客にPRし受注拡大を図ります。
- 海外拠点を活用するなど、グローバルで顧客獲得を推進します。



## 業績

2019年度の連結実績は、売上高は「情報プラットフォーム」事業が前期比11.2%の増加、また、それ以外の事業についてもベンチマーキング関連事業やコンサルティング事業等を中心に好調に推移し前期比34.0%増加し、売上高全体では16.5%増加の2,380百万円となりました。営業利益については、売上高の増加に伴い固定比率が下がり営業利益率が35.9%から36.7%に高まり、前期比19.1%増加の874百万円となりました。



## 成長戦略

当社が目指すビジョン: **自動車産業のプラットフォーマーを目指す**



## 1. 自動車産業のプラットフォーマーを実現するための施策

### ① 売り手側の開拓

- 買い手を誘引する多彩な情報コンテンツ、サービスを提供するため、当社のグローバル7拠点を活用し、新たな提携先を開拓します。

### ② 買い手側の開拓

- ドイツ及び米国の完成車メーカーの無制限契約を獲得し、欧州及び米州における買い手側の会員数増を図ります。
- 情報プラットフォームの価格体系を変更し、完成車メーカー、部品メーカーで設計・開発、生産技術、購買、経営企画等、売り手側の製品・サービスに関心がある部門の会員登録を促進させます。

## 2. ITを駆使した施策

### ① ITによる業務スピードアップを図り成長を加速させます。

- 各サービスの紹介ページを閲覧した会員へ詳細なサービス紹介メールを送信し、引き合い件数の増加を促します。
- 情報プラットフォームのコンテンツ内の単語にリンクを張り、関連情報へ誘導するなどユーザー体験の向上を図ります。

### ② 情報プラットフォームの利用状況などの分析を強化し、各サービスの利用向上を図ります。

- 財務、経理、人事部門等のワークフローや対顧客との商流オペレーションのデジタル化を推進します。
- 会員ニーズを的確かつスピーディに反映させるため、IT人材を採用・配置し、ポータルサイトの内製化を推進します。

## 3. 新卒者採用力の強化

将来の経営を担うコア人材獲得に継続して取り組むとともに、新卒者と中堅・ベテラン社員が互いにもつ強みを共有し、20代から70代までが活躍できる土壌作りを推進します。

# 会社データ

## 会社概要 (2019年12月31日現在)

|      |  |
|------|--|
| 会社名  | マークラインズ株式会社 (MarkLines Co., Ltd.)      |
| 設立   | 2001年1月4日                              |
| 資本金  | 366,791,840円                           |
| 役員数  | 140名(連結)、101名(単独)                      |
| 所在地  | 〒107-0052 東京都港区赤坂8-4-14<br>青山タワープレイス2F |
| 上場市場 | 東証第一部(証券コード3901)                       |

## 役員 (2020年3月26日現在)

### 取締役

|         |       |
|---------|-------|
| 代表取締役社長 | 酒井 誠  |
| 取締役     | 坂井 建一 |
| 取締役     | 蔣 思認  |
| 取締役     | 雪嶋 薫  |
| 社外取締役   | 志藤 昭彦 |
| 社外取締役   | 宮川 洋  |

### 監査役

|       |       |
|-------|-------|
| 常勤監査役 | 松尾 徹  |
| 社外監査役 | 松田 修一 |
| 社外監査役 | 篠崎 正巳 |

## 株式の状況

|          |             |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 27,648,000株 |
| 発行済株式総数  | 13,169,600株 |
| 株主数      | 2,992名      |

## 大株主(上位5名)

| 株主名                         | 持株数(株)    | 持株比率(%) |
|-----------------------------|-----------|---------|
| 酒井 誠                        | 1,920,000 | 14.57   |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)   | 1,554,200 | 11.80   |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)     | 1,105,500 | 8.39    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)  | 563,100   | 4.27    |
| GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL | 528,453   | 4.01    |

## 株主分布状況



## 沿革

|       |     |  |
|-------|-----|--|
| 2001年 | 1月  | 東京都港区赤坂三丁目にて当社設立   |
| 2001年 | 8月  | 「自動車情報プラットフォーム」(日本語版)サービス開始  |
| 2001年 | 12月 | 「自動車情報プラットフォーム」(英語版)サービス開始   |
| 2003年 | 2月  | アメリカ ミシガン州にMarkLines North America, Inc. 設立  |
| 2004年 | 9月  | 中国 上海に麦柯萊依斯信息咨询(上海)有限公司 設立   |
| 2007年 | 4月  | コンサルティング事業を開始  |
| 2011年 | 1月  | 「自動車情報プラットフォーム」リノベーション実施   |
| 2011年 | 12月 | 「自動車情報プラットフォーム」(中国語版)サービス開始  |
| 2013年 | 7月  | タイ バンコクにMarkLines (Thailand) Co., Ltd. 設立  |
| 2014年 | 12月 | 東京証券取引所 JASDAQ 市場へ上場   |
| 2015年 | 1月  | ドイツ フランクフルトにMarkLines Europe GmbH 設立   |
| 2015年 | 6月  | 主要500社動向コンテンツ内において、動画配信を開始   |
| 2016年 | 1月  | インド ハリヤーナー州グルガオンにMarkLines India Pvt. Ltd. 設立  |
| 2016年 | 5月  | ウェブサイトの全面リニューアルを行うプロモーション広告サービス“LINES”を開始<br>日本のものづくり技術を支える中小製造業の受注支援を自動車産業分野において共同で促進する目的で、株式会社NCネットワークと業務提携を締結 |
| 2017年 | 4月  | エンジニアリング会社 Munro & Associates, Inc. と業務提携を締結し、同社の自動車分解調査情報(一部)の掲載、ベンチマーキング関連事業を開始                                |
| 2018年 | 3月  | 東京証券取引所市場第二部へ市場変更  |
| 2018年 | 6月  | 東京証券取引所市場第一部銘柄に指定  |
| 2018年 | 11月 | 名古屋支社開設  |

## 株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで

定時株主総会 3月(基準日12月31日)

期末配当金支払株主確定日 12月31日

中間配当金支払株主確定日 6月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

公告の方法

電子公告により行います。  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。  
<https://www.marklines.com/ja/>

上場金融商品取引所 東京証券取引所

## グループアウトライン

